

第 24 期第 2 回 環境学委員会 環境思想・環境教育分科会 議事要旨

日時： 2018 年 5 月 1 日(火) 15 時～17 時

場所： 日本学術会議 6 階 6-A(1)会議室

出席者（敬称略、五十音順）： 伊藤悟、井上真理子、工藤由貴子、河野哲也、小崎隆(Skype 参加)、関礼子、豊田光世、鳥越けい子、日置光久、氷見山幸夫、山口しのぶ、山田育穂

欠席者（敬称略、五十音順）： 石川義孝、岡田真美子、稲村哲也

※ 委員 15 名中 12 名の出席により会議は成立した。

議題等

1. 前回議事要旨(案)の確認

前回議事要旨(案)を確認し、承認した。あわせて、次回以降の議事要旨(案)の確認方法を定めた。

- 議事要旨の迅速な公開のため、委員会開催後 8 週間以内に議事要旨を確定することが必要となったので、今後はメールベースで議事要旨(案)の確認・承認を行うこととした。
- 委員会終了後早い時期に、幹事は議事要旨(案)の素案を作成し、議長の確認の後、議事要旨(案)確認の依頼メールを各委員に送り、各委員は確認の結果をメール返信する。修正等がなく原案をそのまま承認する場合も、その旨メールにて連絡する。出席者全員が確認したことが明らかになった後、承認については議長に一任する。
- 議長は承認した議事要旨を遅滞なく事務局担当者に提出する。

2. 「記録」の作成・提出について

工藤委員・山田委員より、これまでの経緯や「記録」の目的・概要、取りまとめ作業の進捗状況等についての説明があった。

山口委員より、「記録」に掲載予定の原稿「国連の持続可能な教育のための 10 年 (DESD) を終えてー環境教育における教員育成の課題と今後の展開について」に関する報告があり、他の委員との間で質疑・議論が行われた。

続いて、「記録」の今後の進め方・まとめ方について議論した。

- 前書きは第 23 期の委員長である工藤委員が担当する。
- 関委員長・工藤委員・山田委員で WG を作り、実質的な作業を進めていく。
- 基本的には、現在提出されている原稿をそのまま活かすかたちで取りまとめ、調整・修正等は必要最低限に止め、完成を急ぐこととした。
- WG は前書きと目次の素案をできるだけ早く示し、委員の間で確認を進めることとする。

3. 小委員会の設置について

豊田委員より、「環境教育の思想的アプローチ検討小委員会」について、設置目的・メンバー候補等の説明があった。また、事務局の宮本氏より、小委員会は2月の幹事会で承認されすでに設置されていること、今後は、小委員会メンバー案を所定の様式で提出し承認を受けることになる旨、説明があった。

それらを受け、以下の方針の下で、豊田委員がメンバーの申請書類を整え、提出することとなった。

- 現状の案から関委員長は除くこととした。なお、分科会メンバーは正式な小委員会メンバーでなくても、できるだけ積極的に参加していく方針を確認した。
- 特任連携会員として、安藤聡彦氏（埼玉大学教育学部教授）が承認された。安藤氏には本小委員会の委員長をお願いすることとし、委員長決定までは豊田委員が世話人を務めることとした。

4. その他

関委員長より、今年度の会議開催委予定についての説明があり、次回の開催日程について大まかな検討が行われた。

- 今年度は残り3回の実施予定（概ね8月、12月、3月を想定）。
- 氷見山委員より、次回は小委員会も同時開催とすることが提案され、その方向で検討することとなった。

以上